

子どもの言動から「子どもを知る」

4月の新歓フェスタの講師土佐いく子さんが、「どの子どもも参加したくなる 希望の授業づくり」(フォーラム・A)の中で執筆されている内容を紹介します。

言動の裏にあるもの、安心のある教室

「困ったことをする子どもは、困っている子ども」などといわれます。その



言動には、わけがあるのです。

友だちがほめられるのが悔しい？

絵の色が美しいとほめられた子どもと、ころに「へた！」という子どもがいます。

「そうか、ゆきちゃん前は前の学校で、一生懸命描いたのに、へたへたって言われて、悲しかったんだなあ」と言うと、ピタッと表情が止まります。

渡されたテストを捨てた康ちゃん

テストをもらったとき、しばらくじつと眺めてから、おもむろにポンと捨てる4年生。「そんなにテストが嫌なら止め

なさい。」という、ブチッと切れて飛び出すのですが、「大丈夫。康ちゃんには『オレもこのテスト

できたらいいなあ、くそっ！』ってテストを丸めて捨てたんだ。大丈夫だよ」と言うと、本人はもとより、クラスの子ども

たちの中にふわっと安心の空気が広がります。

「僕があんなことをしても、先生は受け止めてくれるんだ。この教室ではダメな自分を出してもいいんだ」という安心なのでしようね。言動の裏が見えてくると、子どもがいとおしくなってくるのですよ。

授業中に「いやだ。いやだ」とつぶやく子ども

2年生の「かさこじぞう」の授業中です。何を言っているのかと確かめたら、「かさこじぞうのじいさまとばあさま、仲

がいいからええわ」とい

うのです。よくよく聞くと、両親が別れると大げんか、夕べは母親が家を出て行かないように、ひもで母親と自分の腕をくくって寝たというではありませんか。

小さなつぶやきの中にも、SOSがあるのでですね。

子どもがかわいいと思えたら

子どもの言動の裏にあるものが見えてくると、子どもがかわいくなりますよ。子どもがかわいく思えたら、元気が出ます。

× モ*子どもの言動から見える本音

- なんてことを！と感情的になる前に
 - ・ ひいきするなー！
→私のこと僕のこと大事にして。
 - ・ 言うことコロコロ変えるな！
→毅然としてください。
 - ・ 厚化粧をとれ！
→素を見せて僕たちとつきあって。

2019 泉北・泉大津 新歓フェスタ

どの子どもも見捨てへん

～先生にやりがい 子どもに生きる希望 親に安心を～



土佐 いく子さん

(和歌山大学講師)

日時：2019年4月7日(日)

午前10:00～

場所：和泉市コミセン

1F 中集会室

来年度4月の泉北・泉大津教組新歓フェスタは、元大阪市の小学校教諭の土佐いく子さんをお招きします。作文から子どもたちの日常を知り、心に寄り添う実践をされてきました。

新年度、子どもたちをいとおしく思うことからはじめませんか。みなさんの参加をお待ちしています。